

Act Locally

環境政策課

☎(584)4691

FAX(584)4818

環境学習を通して共に学び・考え・行動し、豊かな地球環境を守り、未来へつなぐ

資源が循環するまち

生ごみや包材を減らすことは
脱炭素への大きな一歩



トで生ごみを減らす
何度も使える木製コンボス



エコフェスタでは、せっけんを自由に成型して楽しむ「こねこねせっけん」とビン入りのジュースの試飲を用意します。

河川・湖沼の汚染を食い止めるために始まったせっけん運動。数十年がたちますが、琵琶湖のため、地球のため、そして未来のために続いています。ジュースの入ったビンにはリユース規格の「R」マークが入っています。ビンや包材を回収して再利用しています。



生活クラブ
環境の取り組み

もりやまエコフェスタに初参加の「生活クラブ」は、脱炭素地域づくりに向けた地域連携として生ごみなどのたい肥化による資源循環のモデル事業に取り組んでいます。目的はコンポストの活用と普及です。

もともと、「持続可能な生活を選ぶ」を理念に食材を宅配する生協(生活協同組合)なので、未来のために「生ごみ」「包材」「水」などの循環に取り組んでいます。



雨水を再利用する
ためのタンク利用

定期的なごみ拾いなどもしていますが、持続可能な生活は日常の中にあると考えています。

家庭から出る生ごみをコンポストでたい肥にして、ごみを減らしたり、Rビンを使う生活を選ぶことが、環境にも生活者にも優しい取り組みです。

事業所の敷地にもコンポストや雨水利用のタンクを設置しています。さまざまな「循環」の取り組みは、ごみ減量や脱炭素にも大きな力になります。

生活クラブの秋久保 由紀理事長(後列右)とスタッフ
組合員手前は回収した容器と包材

環境学習 イベント情報

親子でSDGs～木製コンポストづくり～

時 11月23日(土・祝)

午前9時30分～正午、午後1時30分～4時

所 生活クラブ生協本部(水保町1172-1)

内 家庭での生ごみたい肥作りの講義

家庭で使用する木製コンポストづくり(DIY)

定 各12組 ¥1,000円/組

申 11月15日(金)までに右記申込フォームから申し込み。

園 特定非営利活動法人 碧いびわ湖(根木山)

☎080(3394)1279



申込フォーム

水辺の探検会

時 11月30日(土)午前9時～正午

所 びわこ豊穰の郷 事務所(勝部五丁目10-5)

内 市内河川水生生物を採取・調査

講 上西 実さん(龍谷大学 非常勤講師)

¥500円(資料・保険代など含む)

対 小学3年生以上 定 10人

持 長靴、着替え(天候によりレインコート)、筆記用具、飲み物、替えの靴

申 11月25日(月)までに右記申込フォームから申し込み。

園 認定NPO法人 びわこ豊穰の郷

☎(583)8686



申込フォーム